

第 32 回（こども）分科会報告書

1. 開催日時：平成 29 年 12 月 24 日（木） 15：30～17：00

2. 開催場所：やめっこ未来館 学習室

3. 参加者（所属のみ）

筑後特別支援学校、八女市家庭児童相談室、八女市学校教育課、ふるさと、南筑後保健福祉環境事務所、子育て支援課、八女市教育委員会、陽だまりの里、蓮の実団地、さら、みんなの館、あるくとぶらす、つくし園、HIRO キッズ、あおぞら、八女総合療育館、三河小学校、八幡小学校、忠見小学校、上広川小学校、下広川小学校、広川中学校、南中学校、見崎中学校、立花中学校、星野中学校、八女市、広川町、リーベル

4. 実施内容

○講話『ソーシャルスキルトレーニング (SST) の実践～発達障害のある子への関わり方～』

講師 あおぞら 公文眞由美 センター長

○講話概要

◆「上手な聞き方」「上手な断り方」について SST を交えて説明・実演

「上手な聞き方」- “相槌がうてない” 子どもには個別に指導する。

「上手な断り方」- 自身の性格が、おどおど型・きっぱり型・さわやか型の中でどれなのかを見つける。

公文センター長が先生役、参加者 4 名が子ども役として悪い例と良い例を実演し、それぞれ以下の点を検討。

悪い例：何が悪かったのか、どうすればよかったか

良い例：感想、何が良かったか

SST は何度も練習を行うことが非常に大事。発達障害の子どもだけでなく大人でも身に付かないことが多い。学校やデイサービスで毎日 1～2 分だけでも SST の練習を行い、内容を掘り下げていくことで、子どもの苦手克服・成長に繋がっていく。



◆ストラテジーシート（応用行動分析）について説明・課題検討

課題：給食の待ち時間に 2 階からティッシュや鉛筆を落としてしまう

どうすれば上記のような行動を止めることができるか？

- ・給食の時間に役割を決める
- ・ティッシュや鉛筆を取り上げる

↑先生から叱られてティッシュや鉛筆を一緒に拾いに行くことが、子どもの求めていることではないのか？



⇒物を落としても叱らない。物を落とさない際に褒めることで、落とすことが無くなった。

子どもを叱っても同じことを繰り返し行うのは、落とし物を拾いに行く時間は先生を独り占めできるのが理由。子どもは、叱られていることをどのように捉えているか、子どもの視点で考える必要がある。